

令和6年度

総合型選抜 学生募集要項



(陽東キャンパス)

豊かな発想を地域に，新たな知を世界へ

宇都宮大学

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、17ページをご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけ配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

なお、最終ページに栃木県の高校生を対象とした奨学金のご案内を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

【総合型選抜を実施する学部（学科）】

データサイエンス経営学部（データサイエンス経営学科）

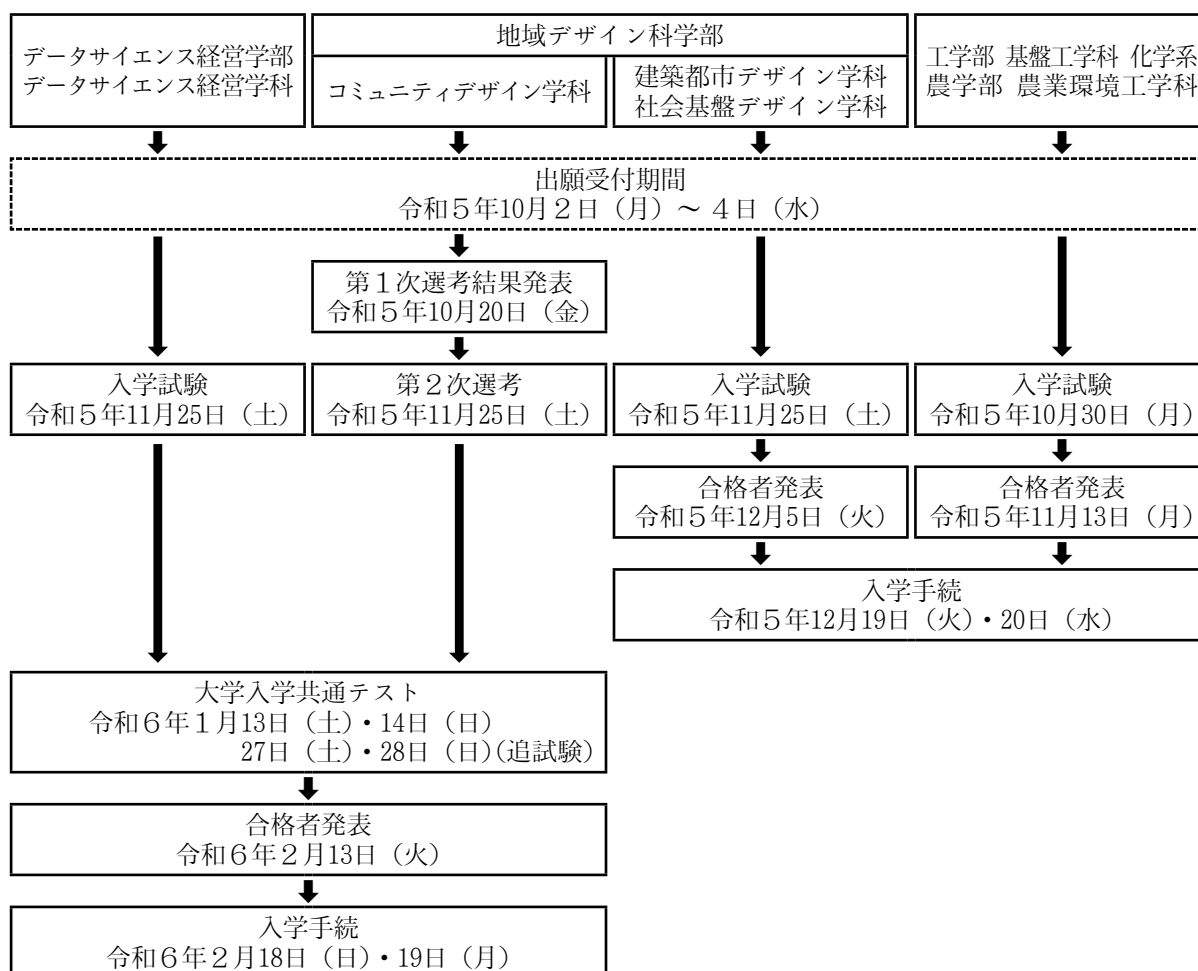
地域デザイン科学部

（コミュニティデザイン学科，建築都市デザイン学科，社会基盤デザイン学科）

工学部（基盤工学科 化学系）

農学部（農業環境工学科）

【総合型選抜主要日程】



～個人情報取扱いについて～

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

《目 次》

1	宇都宮大学の理念と方針，教育目標	1
2	宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
3	募集人員	14
4	出願資格	14
5	出願手続	15
(1)	出願期間	15
(2)	出願方法	15
(3)	出願書類等及び記入要領等	15
(4)	入学検定料免除について	17
(5)	出 願 先	18
(6)	受験票の送付	18
6	疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	18
7	選抜の方法及び選抜日程等	19
(1)	選抜の方法	19
(2)	総合型選抜の入学志願者に課する教科・科目名及び配点	23
(3)	第2次選考及び入学試験の日時及び検査場	25
8	受験上の注意事項	25
(1)	検査当日の注意事項	25
(2)	不正行為	25
9	合格者発表	27
10	合格者への諸注意	27
11	入学手続	28
(1)	手続期間	28
(2)	入学手続時に必要な納付金等	28
(3)	入学後に必要な諸経費	28
(4)	マイナンバーカードの使用について	28
(5)	そ の 他	29
12	そ の 他	29
13	令和5年度総合型選抜入学者選抜状況	29
14	検査場案内図	30

《巻 末》

社会基盤デザイン学科のプレゼンテーション内容である

「地域社会貢献活動」について	31
栃木県の高校生の皆さんへ 入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内	34

1 宇都宮大学の理念と方針，教育目標

○理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1. 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
2. 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
3. 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

○教育目標

1. 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
2. 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

【論理的思考力】筋道を立てて論理的に物事を考える力

【情報活用力】情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力

【表現力】感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力

【学修力】一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力。変化に対応し、自らを変えようとする力

【協働力】チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力。多様な人々との繋がりや協働を生み出す力

【課題解決力】多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力。課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取組む力

2 宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

1. 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
2. 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3. 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

データサイエンス経営学部は、経営学とデータサイエンスを総合的に学び、データから価値のある情報を抽出するデータサイエンス力、経営学的視点から課題とその解決策を見つけ出すマネジメント力、データサイエンスと経営学の知識とスキルを、課題解決や意思決定、価値創出に活用できる社会実装力の3つの力を有する経営人材を育成します。また、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を身に付けた学生に「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を育成するための3つの分野からなるカリキュラムを提供しています。数理・データサイエンス科目では、数学・統計学・情報学などを学ぶとともに、機械学習やAIを活用してデータから価値ある情報を抽出する力を養います。経営学科目では、組織などの構造を理解し、経営学的な視点で課題と解決策を見つけ出す力を養います。総合・社会実装科目では、データサイエンスと経営学の知識と技術を活用して社会に実装する力を養います。カリキュラムは基礎的な内容から専門的な内容へ段階的に学習できるように構成されています。	多様化・複雑化した課題を、データを基にして科学的に分析するための、データサイエンスに関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、多様な組織において経営学的視点から課題を見つけ出し、状況に適した柔軟なマネジメントを行うための、経営学に関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、組織の中でデータサイエンス及び経営学の複眼的な視野を持って、多様な価値観を持つ人と協働して課題を解決するためのコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、経営課題やそれに関連するデータを体系的に整理し論理的に思考する力、課題解決に向けて主体的に行動できる力が必要です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

データサイエンス経営学科では、理系的な知識と文系的な知識の両方が必要です。高等学校の教科・科目の学習を通して、文系・理系双方の基礎知識をバランスよく身に付けてください。論理的な考え方が重要なので、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てた考え方ができるように心がけてください。経済、経営、データ分析、情報技術などの話題について、教科学習や日常生活の中から関心を向けてください。また、課外活動などを通じて、多様な価値観を持つ人と協働する力を身に付けるために、積極的に自分の考えを人に伝えるようにしてください。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- | | |
|---------------|---|
| 入学時に必要な能力や適性等 | ① 高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、文理の基礎知識をバランスよく身に付けてきた人 |
| | ② 物事を論理的に考えることができる人 |
| | ③ 多様な人々・組織と協働して、これからの世界や日本、地域社会の創造（創生）に貢献するために、自分の考えを表現し他者に伝えることができる人 |
| | ④ 情報システムを活かした企業経営や起業に意欲がある人 |
| | ⑤ 企業、組織活動、組織経営について数理的に分析することに関心がある人 |
| | ⑥ データ分析、プログラミング、情報ネットワーク等に関心がある人 |

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、思考力を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等（面接）の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、コミュニケーション能力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。
総合型選抜	大学入学共通テスト、論述試験、面接及び出願書類により選考を行います。基礎学力、論理的思考力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆☆	☆☆			
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		面接		☆☆	☆☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
総合型選抜	大学入学共通テスト※1		☆☆☆					
	面接			☆☆	☆☆☆		☆☆☆	
	論述試験		☆	☆☆☆	☆☆		☆☆☆	
	出願書類（調査書）		○					

※1 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（コミュニティデザイン学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための人文・社会科学の基礎的な知識、自然科学分野の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習および、教員や学生同士の協働の学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。自らの考えを分かりやすく伝えることを心がけ、他人の意見に耳を傾け、ディスカッションを通じて協働的にアイデアを深めていく機会を、積極的に経験することを期待します。当学科の入学試験の内容は、まちづくりやコミュニティデザインのために行動を起こす人の成長のきっかけとなることを目指しています。当学科に入学しても、しなくても、まちづくりのプレイヤーとしての志を有する人は地域社会の宝であり、当学科では、受験したすべての方々に、その志の実現に資する、成長の機会を提供いたします。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- | | |
|---------------------------------------|--|
| <div> <div>入学時に必要な能力や適性等</div> </div> | ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人 |
| | ② 地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創成を追究するために必要な技能を身に付ける意欲と適性を有する人 |
| | ③ 学際的学修へ向けた論理的思考力と表現力を有する人 |
| | ④ 地域の資源・社会システムの視点から、実践的にまちづくりを学ぶための判断力を身に付ける意欲と適性を有する人 |
| | ⑤ 地域課題の解決に取り組むための主体性とコミュニケーション力を身に付ける意欲と適性を有する人 |
| | ⑥ 地域や社会との関わりの中で多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人 |

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかで受験させ広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では小論文により、課題文や資料(図表や写真など)の読解、解釈を元に自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)を取り巻く課題に取り組む学力、意欲、関心、主体性について評価します。 出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかで受験させ広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では面接により、自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)についての関心と学修意欲、本学科での適性・能力などを評価します。出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
総合型選抜	第1次選考として調査書、事前提出書類(活動経験等を踏まえた進学後の学習について)及びその他提出された書類により選考を行います。また、第2次選考として面接、グループディスカッション、大学入学共通テストの成績等を総合して選考を行います。 各選考は「主体性・多様性・協働性」、「思考力・判断力・表現力」、「知識・技能」を総合して判断します。
私費外国人留学生選抜	出願書類、日本留学試験の成績、英語外部試験(TOEFL)のスコア、本学の学力検査等(小論文、面接)の結果を総合して選抜を行います。小論文では、総合的な理解力、思考力、表現力、面接では、コミュニティデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問います。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆		
		小論文	☆		☆☆☆		☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆	☆	☆☆
		面接	☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
総合型選抜	大学入学共通テスト(注1)		☆☆☆		☆☆	☆		
	グループディスカッション・面接		☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類(調査書)				○			
	活動経験等を踏まえた進学後の学習について		☆		☆☆☆		☆☆	
私費外国人留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆		☆☆	☆		
	日本留学試験		☆☆☆		☆☆	☆		
	面接				☆☆		☆☆☆	
	小論文				☆☆☆		☆	☆☆
	出願書類(成績証明書等)				○			

(注1) 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

建築都市デザイン学科は、従来の建築や空間からの発想に加えて、都市や人々などの社会環境も考慮して、地域の実情に合った生活空間をデザインできる人材を育成します。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題に取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。卒業と同時に一級建築士の国家試験を受験する資格が自動的に得られるカリキュラムになっており、卒業生には「学士（工学）」の学位が授与されます。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題に取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。	建築・都市デザインの基礎を学ぶために、高等学校の教育課程による広範な基礎的知識が必要です。また、数学を中心とした理数系科目に関する応用力と、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力が必要です。建築・都市デザインの専門技術を学ぶために、安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力や、建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有している必要があります。また、人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりや、歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有している必要があります。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

当学科での学修には、様々な科目についてのバランスよい基礎力と、学修を継続する習慣が必要です。建築の工学的側面を学修するために、[数学]は基礎・応用力が、[理科]は基礎力が重要です。建築の社会的側面や芸術・文化的側面の学修には、[社会]等への関心も求められます。また論理的な文章を構成できる[国語][英語]の基礎力が重要です。設計製図は、入学後に基礎から学ぶため事前に必要な知識・技能はありませんが、主体的に学ぶ姿勢が重要です。これらの基礎力とともに、建築学の学修と社会貢献への高い意欲をもつ方を歓迎します。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ② 建築・都市デザインの専門技術を学ぶために必要な基礎的技能や、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力を有する人
- ③ 安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ④ 建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤ 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりを学ぶ態度を有する人
- ⑥ 歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では、広く基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。出願書類（調査書）では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。出願書類（調査書）では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
総合型選抜	造形実技及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。造形実技では、立体・空間の構成を把握・表現する能力等を検査します。面接では、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。出願書類（調査書）では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
私費外国人留学生 選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験では英語の、日本留学試験では日本語、数学および理科の基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。出願書類（成績証明書）では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆			
		出願書類（調査書）			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆	☆☆			☆☆☆	
		出願書類（調査書）			○			
総合型選抜	面接		☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
	造形実技		☆☆		☆☆☆			
	出願書類（調査書）				○			
私費外国人 留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆					
	日本留学試験		☆☆☆		☆☆			
	面接		☆☆				☆☆☆	
	出願書類（成績証明書等）				○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士(工学)」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための工学・自然科学分野の基礎的な知識、特に数学と物理の基礎的理解と応用力は不可欠です。また、社会科学の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習および、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身につけるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。理工学教育のための数学や物理、化学など自然科学の基礎力、表現力の基となる国語・英語、社会的基礎知識である歴史や地理、公民など、幅広く学習することを期待します。当学科の入学試験の内容は、社会基盤や都市機能をデザインする人の成長のきっかけとなることを目指しています。当学科では、まちづくりのプレイヤーとして、社会の発展に貢献したいと願う方々に、成長の機会を提供いたします。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- | | |
|---------------|---|
| 入学時に必要な能力や適性等 | ① 社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
② 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
③ 社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
④ 学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人
⑤ 社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人
⑥ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション力が身についている人 |
|---------------|---|

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。出願書類（調査書）では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では、面接により、まちづくり及び社会基盤（インフラ）に関するあなたの考えを問います。出願書類（調査書）では、主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を中心に評価します。
総合型選抜	プレゼンテーション、面接を総合して選考を行います。なお、面接では理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。社会基盤デザイン分野に関する関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路などを問い、総合して判断します。
私費外国人留学生選抜	基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。 地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆			
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆	☆☆		
		出願書類（調査書）	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類（調査書）	○					
総合型選抜	プレゼンテーション・面接		☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類（調査書）		○					
私費外国人留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆					
	日本留学試験		☆☆☆		☆☆			
	学力検査		☆☆☆		☆☆	☆		
	面接		☆☆				☆☆☆	
	出願書類（成績証明書等）		○					

- (i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
 (ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

工学部 基盤工学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

基盤工学科では、先ず学科の共通教育により工学技術者・研究者として備えるべき教養と工学全般にわたる基礎知識を身につけた上で、各自の志望分野を選びます。2年次から、応用化学コース、機械システム工学コース、情報電子オプティクスコースに分かれ、各々の専門知識を蓄え、関連技術を修得します。その集大成として、「卒業研究」などの主体的な研究活動を通して、柔軟な発想で新技術を創生する力と、それを社会へ適用するデザイン力を身につけます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	1年次には、線形代数・微積分学、物理・化学、データ科学など、工学を学ぶ上で必須の基礎知識を学修します。また、ものづくりを実践する科目、心／身体と工学との結びつきを学ぶ科目、コース入門科目により広い工学的視座を養うと共に、各専門分野の最新動向に触れ、コース選択の準備をします。 2年次以降、コース専門科目群により各々の高度な専門知識や技能を身につけます。さらに、プロジェクト科目や卒業研究を通じて、問題解決力・デザイン力を養います。また、光工学科目群、分野横断科目群により幅広い専門性を身につけます。	社会で活躍できる技術者を目指して、本教育課程に沿って主体的・継続的に学修するためには、高等学校教育課程の特に理数系科目に関する基礎学力を身につけた上で、“工学”に対する強い興味と、将来工学技術者として社会に貢献したいとする熱意を持つことが必要です。応用化学コースの志望者は“化学”、機械システム工学コース・情報電子オプティクスコース志望者は、数学及び物理に対する興味・関心が求められます。さらに、技術者・研究者として活躍するためには、物事を科学的・論理的に思考し判断しようとする姿勢と、その経過や結果を他者に適切に伝えるコミュニケーション能力が必要となります。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

工学の基盤となる概念や法則の学修に備え、「数学」や「理科」等の基礎知識を学習し、それを基に物事を科学的に捉える習慣を身につけましょう。また、実験などの共同作業、レポート作成、研究発表等の機会が頻繁にあるので、「国語」や「英語」で文章の読解力や記述力を身につけ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養って下さい。課題解決に主体的に取り組み、得られた成果を次の課題設定に活かすという経験も貴重です。加えて、倫理観を備え、地域や人々の多様性を理解し、社会で広く活躍できる技術者・研究者に育つために、地歴公民に関する一般知識や常識を学習しておきましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

- 入学時に必要な能力や適性等
- ①高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人

②「工学の専門分野＊」を学ぶ上で基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人

③科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人

④「工学の専門分野＊」に興味と関心があり、それを活用した工夫やものづくりによって社会に貢献する熱意や行動力をもつ人

⑤主体性をもちつつ、さまざまな人々と協働して学ぶ姿勢や必要なコミュニケーション力をもつ人

「工学の専門分野＊」とは、化学・機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野を指しますが、一般選抜（前期日程）および学校推薦型選抜Ⅰの化学系、総合型選抜の志願者に関しては、特に化学に関連する分野を指すものとします。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）	「化学系」と「機械・情報電子系」の２つの入試区分にわけて募集します。入試区分毎に定めた配点割合にしたがって、主として共通テストと個別学力検査等（数学・理科・英語）の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等により、「工学の専門分野」を学ぶための基礎能力を評価します。
一般選抜（後期日程）	基盤工学科として一括募集します。主として共通テストと個別学力検査等（小論文）の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等（小論文）により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。
総合型選抜	「化学系」の入試区分で募集します。出願書類審査、プレゼンテーション、プレゼンテーションに対する試問、および面接を総合して選抜を行います。出願書類審査では主に自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容を審査します。プレゼンテーションにおいて理科全般あるいは化学に関して取り組んだ課題についての発表を行い、試問にてプレゼンテーションの内容に関する質疑応答を行います。また、質疑応答には化学の基礎知識に関する確認も含まれます。面接では、入学後の抱負や勉学に対する意欲などについて尋ねます。以上の内容について総合的に評価します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般推薦として「化学系」と「機械・情報電子系」の２つの入試区分にわけて募集します。調査書および基礎能力試験（数学・理科・英語）と面接の結果を総合し、入学者を選考します。調査書及び基礎能力試験の結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。面接により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。 この外、「機械・情報電子系」では専門高校・総合学科推薦枠でも募集します。選抜方法は一般推薦と同じですが、面接では、高校等における専門分野に関する学習や経験についての試問があります。
私費外国人留学生選抜	基盤工学科として一括募集します。主として日本留学試験、英語外部試験及び学力検査（数学・理科）の結果を総合し、入学者を選考します。英語外部試験及び学力検査により、「工学の専門分野」を学ぶための基礎能力を評価します。面接により、「工学の専門分野」への興味・関心の深さと論理的思考能力などを評価します。

2年次からのコース配属に関するルールは入試区分毎に異なります。詳細は右記リンクを御確認下さい。



(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤
「学力の３要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
		個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	
		出願書類（調査書）	○				
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
		小論文			☆☆☆	☆☆	
		出願書類（調査書）	○				
総合型選抜	プレゼンテーション・面接		☆☆		☆☆☆		☆☆☆
	出願書類（調査書）		○				
	出願書類（自己推薦書）		☆☆		☆☆☆		☆☆
選学校推薦型選抜Ⅰ		基礎能力試験	☆☆☆	☆	☆		
		面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
		出願書類（推薦書）	○				
		出願書類（調査書）	☆☆		☆		☆☆
私費外国人留学生選抜	英語外部試験			☆☆☆		☆☆	
	日本留学試験		☆☆☆	☆	☆☆	☆	
	学力検査		☆☆☆		☆☆	☆	
	面接				☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	出願書類（成績証明書等）		○				

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 農業環境工学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

農村環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産の確保、再生可能エネルギーやバイオマス資源の利用に関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍でき、行動的知性を兼ね備えた技術者を育成することを目指しています。2年生後期から、①水土環境工学コース、②食料生産システム工学コースのいずれかに分属し、それぞれの専門領域について学修します。この2コースではそれぞれ、①地域資源・地域環境の適切な利用と管理、田園空間の総合的デザインに携わる専門技術者、②圃場機械や栽培・流通施設、廃棄物・バイオマス管理など、食料生産環境システムの機構とその設計、制御に携わる専門技術者の育成が図られます。なお、本プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	①水土環境工学コース、②食料生産システム工学コースの2コースがあり、学生の履修すべき専門科目は学科共通必修科目、コース別必修科目、コース別選択科目に分類されます。「農学の役割について理解し、認識を深める」ことは主として基盤教育で培われ、「自然環境の理解と技術者としての責任感」、「田園空間環境創出のための工学的手法」、「課題解決能力や論理的思考力」等を習得するために必要な科目群を学科共通必修、「データ解析力」の習得に必要な科目群をコース別必修として配置しています。コース分属が2年生後期開始時であるため、学科共通必修科目は1年生から2年生前期に開講されます。	環境と調和した農業システムへの関心と持続可能な社会の創造に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農村環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産の確保、再生可能エネルギーやバイオマス資源の利用などについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な理数系を中心とした教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身に付けていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の食料の問題などに対して、学んだ知識を組み合わせ、道筋をたてて様々な面から考察することのできる基礎的な力を必要とします。さらに、他者と協働して田園空間環境を創出するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな環境の創出・管理・評価、持続可能な食料生産、再生可能エネルギーなどに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけましょう。また、教科学習を通して、知識を組み合わせ道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけましょう。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけましょう。

Ⅲ 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- | | |
|-------------------------|---|
| 求める学生像
入学時に必要な能力や適性等 | ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている。 |
| | ② 農業環境工学の基礎となる数理科目等についての基礎的な知識と学力を備えている。 |
| | ③ 様々なデータを読み取る力、論理的な思考力、判断力を備えている。 |
| | ④ 広く社会や環境に関わる問題意識をもち、諸課題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている。 |
| | ⑤ 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え、行動を起こす意欲と能力を備えている。 |
| | ⑥ 環境と調和した農業システムや田園空間の創出に関心および情熱を備えている。 |

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では数学または外国語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群を受験してもらいます。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜	プレゼンテーション、グループディスカッション、面接の結果及び「活動経験についての報告書」、「進学後の自己設計書」を総合して選抜を行います。関心や展望、表現力、主体的な姿勢およびコミュニケーション能力を総合的に評価します。
学校推薦型選抜Ⅰ	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素の学びに取り組んできたことを確認するために出願書類(調査書等)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
		出願書類(調査書)			○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
総合型選抜		プレゼンテーション			☆		☆☆☆	
		グループディスカッション			☆☆☆		☆☆	
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○			
		出願書類(進学後の自己設計書)					☆☆☆	
		出願書類(活動経験についての報告書)						☆☆☆
学校推薦型選抜Ⅰ		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆	☆	☆☆☆			☆☆☆
		出願書類(推薦書)			○			
		出願書類(調査書)			○			
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆					
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
		出願書類(成績証明書等)			○			

- (i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

3 募集人員

学 部	学 科 等	募集人員
データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	7 名
地 域 デ ザ イ ン 科 学 部	コミュニティデザイン学科	7 名
	建築都市デザイン学科	3 名
	社会基盤デザイン学科	5 名
	合 計	15名
工 学 部	基盤工学科 化学系*	8 名
農 学 部	農業環境工学科	5 名

* 化学系に合格し、入学した者は、2年次より応用化学コースに配属されます。

(注) 総合型選抜の入学手続者が募集人員に満たない場合は、当該不足人員を当該学科・系の前期日程の募集人員に加えます。

4 出願資格

次の①及び②に該当し、かつ③の志望学科の要件の全てを満たす者とします。

① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者

(ウ) 高等専門学校の第3学年を令和6年3月修了見込みの者

② 合格した場合は本学に入学することを確約し、入学後、意欲的に勉学に励む者

③ 各学科の要件（下表）

学 部	学 科	要 件
データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	⑦大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目を受験する者（解答を要する教科・科目については、24ページを参照のこと）(注) ①調査書の学習成績概評がB以上の者
地 域 デ ザ イ ン 科 学 部	コミュニティデザイン学科	⑦大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目を受験する者（解答を要する教科・科目については、24ページを参照のこと）(注) ①調査書の学習成績概評がB以上の者
	建築都市デザイン学科	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者
	社会基盤デザイン学科	⑦調査書の学習成績概評がB以上の者
農 学 部	農業環境工学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の者

(注) 大学入試センターからの成績提供により本学が指定する教科・科目を受験していないことが判明した場合は、失格となり、可否の対象となりません。（大学入学共通テストを課す学部・学科のみ）

5 出願手続

(1) 出願期間

令和5年10月2日（月）～ 4日（水）まで（ただし、4日は17時までには必着のこと）

（注）手続期間終了後に到着したものは、受理しないので注意してください。

(2) 出願方法

原則として、郵送とします。

次の(3)に示す書類等を取りまとめ、本要項に添付されている**総合型選抜出願のための書類送付用の封筒**を使用して、必ずその封筒裏面で出願書類に漏れないことを出願者チェック欄にチェックを入れて確認し、必ず「書留・速達」で送付してください。

（留意事項）

郵送に際しては、郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。
なお、期間内に到着しないおそれがある場合は持参してください。

(3) 出願書類等及び記入要領等

出願書類等は、黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。

ただし、出願書類の＊印の欄は記入しないでください。

出 願 書 類 等	記 入 要 領 等	
◇①入 学 志 願 票	氏 名	戸籍上の氏名を記入すること。（略字は使用しないこと）
	性 別	該当するものを○で囲むこと。
	出願学部学科	出願する学科名を記入すること。
	選 抜 の 区 分	該当する選抜の区分を○で囲むこと。
	出 願 資 格	該当する文字を○で囲み、都道府県名、学校名、卒業又は卒業見込みの年月を記入すること。
	出 願 者 連 絡 場 所	詳細に記入すること。郵便が間違いなく届くように、アパート名、マンション名、棟、部屋番号、〇〇様方などを省略せずに記入すること。
	上 記 以 外 の 連 絡 場 所	本学からの連絡を確実に受信できる連絡先を記入すること。出願者連絡場所と同じ場合は、「同上」と記入すること。
◇②受 験 票	出願学部学科、氏名は「入学志願票」と同じ要領で記入し、所定の欄に写真を貼付すること。（写真の大きさ：縦4 cm×横3 cm）	
◇③写 真 票	同上。（必ず②受験票と同じ写真を貼付すること）	
④調 査 書	出身学校長が作成し、 厳封 したもの。 学習成績概評④の者については、備考欄にその理由を必ず明示すること。 なお、地震、風水害等の影響で学校等が被災し、調査書の必要事項の一部が記入できない、又は調査書そのものが提出できない場合は、必ず9月19日（火）までにアドミッションセンター事務室へ相談すること。	
◇⑤活動経験等を踏まえた進学後の学習について 【地域デザイン科学部】 【コミュニティデザイン学科】	コミュニティデザイン学科に出願する者のみ提出すること。 出願者が、これまでの学習・経験から、現時点でどのような問題意識、関心を持っているか、そして今後どのように発展させようとするか、以下の三点に分けて、本人の自筆により記入すること。 1. 活動経験等：出願者がこれまでに主体性をもって携わった社会的な活動歴及びその内容（学校内での活動や最近のニュースについて調べたことなどを記入することも可） 2. 問題意識・関心：これまでの学習や1. の活動経験等から得たあなたの考え・志向。 3. 進学後の自己設計：2. で示した問題意識・関心を、コミュニティデザイン学科での学びをとおしてどのように発展させ、地域に貢献しようとするか。	

出 願 書 類 等	記 入 要 領 等
◇⑥地域社会貢献活動 のタイトル・概要票 【地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科】	社会基盤デザイン学科に出願する者のみ提出すること。 自らが行った、あるいは参加した地域社会貢献活動の経験について、検査時にプレゼンテーションを行います。プレゼンテーション時に発表する地域社会貢献活動の①タイトル、②活動内容の概要を200文字程度にまとめて記載すること。 様式は本要項に添付されている用紙の他、本学ホームページからダウンロードしたものでも可。その場合は、用紙はO A用紙、コピー用紙（複写用紙）、プリンタ用紙などを用いること。
◇⑦自 己 推 薦 書 【工学部基盤工学科 化学系】	基盤工学科化学系に出願する者のみ提出すること。 自己推薦書（活動報告）では、理科に関して主体的に活動した内容とそこから得たことを400字程度で、自己推薦書（志望理由と今後の抱負）では、本学入学を希望するに至った理由と本学入学後の抱負について400字程度で記述して下さい。 募集要項に添付されている用紙または本学ホームページからダウンロードした様式をA 4 サイズ片面で印刷したものに、黒のボールペンで記載すること。 P C等で作成する場合は、ダウンロードした様式に基づき作成後、A 4 サイズ片面で印刷すること。ダウンロードした様式の改変は不可。用紙はO A用紙、コピー用紙（複写用紙）、プリンタ用紙などを用いること。
◇⑧プレゼンテーション 資料 【工学部基盤工学科 化学系】	基盤工学科化学系に出願する者のみ提出すること。 理科全般あるいは化学に関して取り組んだ課題について、本学ホームページからフォーマットをダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をA 4 サイズで作成すること。印刷する際の用紙はO A用紙、コピー用紙（複写用紙）、プリンタ用紙などを用いること。
⑨活動経験についての 報告書 【農学部 農業環境工学科】	農業環境工学科に出願する者のみ提出すること。 出願者が、これまでに主体的に携わり、実施した活動の一つについて、 ①どのような活動を行ったか ②得られた成果・結果に対してどのような貢献をしたか を含み、A 4 判用紙（20文字×20行＝400文字、パソコンによる印字可）1枚、400字以内にまとめて記載すること。 様式は本要項に添付されている用紙の他、本学ホームページからダウンロードしたものでも可。その場合は、用紙はO A用紙、コピー用紙（複写用紙）、プリンタ用紙などを用いること。
⑩進学後の自己設計書 【農学部 農業環境工学科】	農業環境工学科に出願する者のみ提出すること。 出願者が、現時点で進学後に、 ①どのように学びに取り組むか ②将来、農業環境工学関連分野でどのような貢献をしたいか を含み、A 4 判用紙（20文字×20行＝400文字、パソコンによる印字可）2枚、800字以内にまとめて記載すること。 様式は本要項に添付されている用紙の他、本学ホームページからダウンロードしたものでも可。その場合は、用紙はO A用紙、コピー用紙（複写用紙）、プリンタ用紙などを用いること。
◇⑪入 学 検 定 料	17,000円 必ず本学所定の銀行振込用紙を用い、振込依頼人の名義欄は、受験者本人の名前を記入し、本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座に振り込むこと。 ただし、A T Mでの振込は行わないこと。 なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り「振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付すること。 また、地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、入学検定料免除申請書（別添書類）を提出すること。その場合は、入学検定料は納付せずに、氏名とフリガナのみ記入し、「免除申請」を○で囲んだ「振込受付証明書貼付台紙」を提出すること。
◇⑫受験票送付用封筒	本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、必ず 344円※ 分の切手（速達）を貼付すること。
◇⑬合 格 通 知 書 等 送付用住所ラベル	詳細に記入すること。郵便が間違いなく届くように、アパート名、マンション名、棟、部屋番号、〇〇様方などを省略せずに記入すること。

- (注) 1 ◇印の出願書類は、この要項に添付されている本学所定の用紙を使用してください。
(上記⑥～⑩は本学ホームページからダウンロードした様式を使用することもできます。)
- 2 入学検定料については、出願書類を受理した後はいかなる理由があっても返還できません。ただし、第1次選考の不合格者には、13,000円を返還します。
- 3 受理した書類等は、いかなる理由があっても返還できません。
- 4 受理した書類等の記載内容は、変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先及び電話番号に変更が生じた場合は、速やかにアドミッションセンター事務室へ連絡してください。
- 5 日本語以外の言語で記載されている書類は、訳文の提出を求める場合があります。
- 6 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

(4) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成23年3月以降に災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

㊦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

- (ア) 全壊
- (イ) 大規模半壊
- (ウ) 半壊

㊧ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者

- (ア) 警戒区域
- (イ) 計画的避難区域
- (ウ) 緊急時避難準備区域

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①ア㊦並びに㊧に該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

㊦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㊧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめアドミッションセンター事務室まで問い合わせてください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付についてアドミッションセンター事務室から電話にて連絡します。

(5) 出願先

〒321-8505 宇都宮市峰町350
宇都宮大学アドミッションセンター事務室

(6) 受験票の送付

受験票は、出願に必要な書類等の受付期間終了後、出願者全員に送付しますので、令和5年10月13日（金）までに到着しない場合は、アドミッションセンター事務室へ申し出てください。

6 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、以下の期限までのできるだけ早い時期にアドミッションセンター事務室との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限 令和5年9月19日（火）まで

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式はホームページに掲載 <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/examination.php>）に次の内容を記載し、医師の診断書（写でも可とします。）を添えてアドミッションセンター事務室へ提出してください。

- ① 氏名，住所，連絡先電話番号，連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類（総合型選抜），学部，学科
- ③ 疾病・負傷や身体障害等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮
- ⑦ 日常生活の状況

7 選抜の方法及び選抜日程等

(1) 選抜の方法

データサイエンス経営学部

学 科	検 査 等 の 内 容	
デ ー タ サイエンス 経 営 学 科	論 述 試 験 (配点：300点)	経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに関する基礎的な素養及び論理的思考力を評価する。(試験時間90分)
	面 接 (配点：300点)	個人面接とし、複数の面接員により、一人あたり15分～20分程度実施する。 コミュニケーション能力と社会への貢献、経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに対する関心や意欲を評価する。
	大学入学共通 テストの結果 (配点：300点)	配点の詳細は24ページ参照。

地域デザイン科学部

学 科	検 査 等 の 内 容		
コ ミ ュ ニ ティ デ ザ イン 学 科	第 1 次 選 考	提出された書類により選考する。 活動経験等を踏まえた進学後の学習についてのオリジナリティや意欲も含めて審査する。	
	第 2 次 選 考 〈第 1 次 選 考 の 合 格 者 に 対 し て 行 う〉	グ ル ー プ ディスカッション (配点：300点)	〈検査の方法〉 3～5名でグループをつくり、1グループあたり30～40分程度実施する。前半では「活動経験等を踏まえた進学後の学習について」の内容について、あらかじめ準備したポスター(最大A0まで)をもとに、1人ずつ順に発表する。後半では発表内容についてお互いにディスカッションする。 〈検査の観点〉 主体的・協働的な姿勢や、コミュニケーション能力や地域課題への問題意識などを評価する。
		面 接 (配点：300点)	〈検査の方法〉 個人面接とし、複数の面接員により1人あたり15分程度実施する。 出願書類「活動経験等を踏まえた進学後の学習について」とグループディスカッションの内容や問題意識について問う。 〈検査の観点〉 地域と向きあう基礎力として、コミュニケーション能力や基本的知識、学習意欲などを評価する。
		大学入学共通 テストの結果 (配点：600点)	配点の詳細は24ページ参照。

学 科	検 査 等 の 内 容	
建 築 都 市 デ ザ イン 学 科	造形実技、面接の結果及び出願書類を総合して選抜を実施する。	
	造 形 実 技 (配点：400点)	立体・空間の構成を把握・表現する能力等を検査する。
	面 接 (配点：600点)	面接は個人面接とし、複数の面接員により1人あたり10～20分程度実施する。 建築・都市デザインにおける関心度や意欲等を問う。

学 科	検 査 等 の 内 容
社 会 基 盤 デザイン学科	プ レ ゼ ン テーショ ン・ 面 接 (配点：100点) 〈検査の方法〉 「地域社会貢献活動」についてのプレゼンテーションと面接を行い、総合して選考を行う。なお、面接では、理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。プレゼンテーションは指定のプレゼンテーションソフト(注)で行うこと。プレゼンテーション及び面接は個人面接とし、複数の面接員により、受験者1人あたり30分程度で実施します。 プレゼンテーション：10分 質疑応答：10分 面接：10分 〈プレゼンテーション資料〉(任意) 参考となる資料を当日持参し、配付しても可。(事前の提出の必要はなし。配付する場合は15部用意すること) 〈検査の観点〉 地域の問題点の視点の正しさ、解決に向けて提案される方策等の有効性、地域デザイン、社会基盤デザインへの意欲、プレゼンテーションによるアピール力、質疑応答の適切さ等をプレゼンテーションの検査内容とします。 面接では、社会基盤デザイン学科で学ぶ意識、意欲、コミュニケーション能力等を評価し、口頭試問と合わせ総合的に評価します。

(注1) 社会基盤デザイン学科受験において指定するプレゼンテーションソフトは、Adobe Readerのみとし、プレゼンテーションファイルは、全てPDF形式とします。MS Power Point等で作成し、PDFファイルに変換の上、試験会場に持参してください。試験はPDFファイルをフルスクリーンモードで表示しPC用プロジェクターにより投影して行います。あらかじめ、最新版 Adobe Readerでの動作確認をしてください。パソコンは大学側が試験会場にて用意し、個人のパソコンの持ち込みは禁止とします。試験会場に備え付けの Windows PC を、最新版の Adobe Reader をインストールして用意します。電子データをUSBメモリスティック若しくはCD-R（ファイナライズされたもの）に保存し持参してください。それ以外のメディアは利用できません。また、ウイルスチェックを必ず事前に実施してください。サイズは20MB以下を目安とし、これを超える場合も50MBを遵守してください。

(注2) 31ページ〔社会基盤デザイン学科のプレゼンテーション内容である「地域社会貢献活動」について〕も参照すること。

工学部

学 科	検 査 等 の 内 容
基 盤 工 学 科 化 学 系	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 面 接 (配点：100点) 〈検査の方法〉 出願書類，プレゼンテーション，プレゼンテーションに対する試問及び面接の結果を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーションでは，事前配布のプレゼンテーションフォーマットを用いて，自身が取り組んだ理科あるいは化学に関する課題をまとめて発表します。プレゼンテーションに対する試問では，プレゼンテーションの内容に対する質疑応答及び化学に関する基礎知識の確認を行います。面接では入学後の修学意欲及び抱負などを尋ねます。プレゼンテーション及び面接は個人面接とし，複数の面接員により，受験者1人あたり15～25分程度で実施します。 プレゼンテーション：5分 プレゼンテーションに対する試問：5～15分程度 面接：5～15分程度 〈プレゼンテーション資料〉 本学ホームページからダウンロードしたフォーマットに基づいて作成したプレゼンテーション資料を印刷して出願すると共に，PDFファイルへ変換して当日持参して下さい。当日持参のファイルの内容は事前に提出したプレゼンテーション資料から変更しないで下さい。 〈検査の観点〉 プレゼンテーションとプレゼンテーションに対する試問では，本コースの学修に必要な思考力，判断力や主体的に学ぶ姿勢，他人にわかりやすく説明する表現力を主に評価します。また，基本的な学習事項に対する理解度についても確認します。 面接では，応用化学コースで学ぶ意欲やコミュニケーション能力を評価します。 自己推薦書（活動報告）では，受験生の理科や化学に対する関心，課題解決に向けての行動力や科学的思考力を評価します。自己推薦書（志望理由と今後の抱負）では，志望の経緯を確認し，今後の学修意欲について評価します。

(注1) 当日の発表において指定するプレゼンテーションソフトは，Adobe Reader のみとし，プレゼンテーションファイルは，全てPDF形式とします。MS Power Point 等で作成し，PDFファイルに変換の上，試験会場に持参してください。試験はPDFファイルをフルスクリーンモードで表示しPC用プロジェクターにより投影して行います。あらかじめ，最新版 Adobe Reader での動作確認をしてください。パソコンは大学側が試験会場にて用意し，個人のパソコンの持ち込みは禁止とします。試験会場には最新版の Adobe Reader をインストールした Windows PC を用意します。電子データをUSBメモリスティック若しくはCD-R（ファイナライズされたもの）に保存し持参してください。それ以外のメディアは利用できません。また，ウイルスチェックを必ず事前に実施してください。サイズは20MB以下を目安とし，これを超える場合も50MBを遵守してください。事前提出資料からの変更はしないでください。

農学部

学 科	検 査 等 の 内 容	
農 業 環 境 工 学 科	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン (配点：30点)	〈選抜の方法〉 プレゼンテーション，グループディスカッション，面接の結果及び「活動経験についての報告書」，「進学後の自己設計書」を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーションでは，課題「あなたが考える10年後の農業環境工学の役割」について，事前に印刷し持参したプレゼンテーション資料を配付の上，グループ内の受験生全員が1人あたり5分のプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションでは，農業環境工学科で学ぶ内容に対する関心や展望，思考力，表現力を評価します。 グループディスカッションでは，プレゼンテーション終了後，プレゼンテーションの課題についてグループディスカッションを30分程度行います。グループディスカッションでは，思考力，判断力，問題解決に向けた主体的な姿勢，他者と協働するためのコミュニケーション能力を評価します。
	グ ル ー プ ディスカッション (配点：30点)	「活動経験についての報告書」では，①どのような活動を行ったか，②得られた成果・結果に対してどのような貢献をしたか，を含み400字以内にまとめて記載します。「進学後の自己設計書」では，進学後に①どのように学びに取り組むか，②将来，農業環境工学関連分野でどのような貢献をしたいか，を含み800字以内にまとめて記載します。これら出願時の提出物をもとに，主体的な姿勢，農業環境工学科で学ぶ意欲を評価します。 面接では，「活動経験についての報告書」，「進学後の自己設計書」及びプレゼンテーション内容に関する質問を含み，複数の面接員による個人面接を20分程度行います。面接では，農業環境工学科で学ぶ意識・意欲，コミュニケーション能力等を評価します。 プレゼンテーション：5分×(グループ内の受験者数（最大6名）) グループディスカッション：30分
	面 接 (配点：40点)	〈プレゼンテーション資料〉 資料（スライド4枚をA4用紙1枚にする形式で印刷したもの）を15部持参し，面接員及びグループ内の受験者に配付します。資料はグループディスカッション終了後に回収します。（事前提出の必要はなし。資料に所属学校名及び氏名を明記しないこと） 〈検査の観点〉 プレゼンテーションでは，本学科で学ぶ内容に対する関心や展望，思考力，表現力を評価します。グループディスカッションでは，思考力，判断力，問題解決に向けた主体的な姿勢，他者と協働するためのコミュニケーション能力を評価します。 「活動経験についての報告書」及び「進学後の自己設計書」では，主体的な姿勢，農業環境工学科で学ぶ意欲を評価します。 面接では，農業環境工学科で学ぶ意識・意欲，コミュニケーション能力等を評価します。

(注1) 農業環境工学科受験において指定するプレゼンテーションソフトは，Adobe Reader のみとし，プレゼンテーションファイルは，全てPDF形式とします。MS Power Point 等で作成し，PDFファイルに変換の上，試験会場に持参してください。試験はPDFファイルをフルスクリーンモードで表示しPC用プロジェクターにより投影して行います。あらかじめ，最新版 Adobe Reader での動作確認をしてください。パソコンは大学側が試験会場にて用意し，個人のパソコンの持ち込みは禁止とします。試験会場に備え付けの Windows PC を最新版の Adobe Reader をインストールして用意します。電子データをUSBメモリスティック若しくはCD-R（ファイナライズされたもの）に保存し持参してください。それ以外のメディアは利用できません。また，ウイルスチェックを必ず事前に実施してください。サイズは20MB以下を目安とし，これを超える場合も50MBを遵守してください。

(2) 総合型選抜の入学志願者に課する教科・科目名及び配点

① 大学入学共通テスト教科・科目名の表記

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように示しています。

○国語→国

「国語」→「国」

○数学→数

「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」,

「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」

○外国語→外

「英語」→「英」, 「ドイツ語」→「独」, 「フランス語」→「仏」,

「中国語」→「中」, 「韓国語」→「韓」

② 総合型選抜の実施教科・科目等及び配点

学部・学科名			大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学の検査等		大学入学共通テスト・大学の検査等の配点												
			教科	科目名等	科目等	検査の内容等	国語	歴史・公民	数学	理 科	外国語	小 計	第1次選考			第2次選考・入学試験			
データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	国数外	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科4科目〕	その他	出願書類 論述試験（注1） 面接（注2） 大学入学共通テスト	100		100		100	300			300		300		900	
				国数外	数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅲ・数Bから2 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科4科目〕	その他	第1次選考：出願書類 第2次選考：グループディスカッション（注1） 面接（注2） 大学入学共通テスト	200		200		200	600	300			300		1200
地域デザイン学部	コミュニティデザイン学科	建築都市デザイン学科	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 造形実技（注1） 面接（注2）											600	400	1000	
				大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション・面接（注1） 面接（注3）									100				100
工学部	基盤工学系	環境工学	大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション・面接（注1） 面接（注3）											100		100	
				大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション・面接（注1） 面接（注3）												100	
農学部	農業環境工学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション（注1） グループディスカッション（注2） 面接（注3）											30	30	40	100
				大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション（注1） グループディスカッション（注2） 面接（注3）												30	30

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄
①「英」は、リスニングを含みます。

【大学の検査等】欄

データサイエンス経営学部

（注1）「論述試験」は、経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに対する関心や意欲を評価します。

（注2）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15～20分程度実施します。

（注3）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

地域デザイン学科

（注1）「グループディスカッション」は3～5名でグループをつくり、1グループあたり30～40分程度実施します。

（注2）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15分程度実施します。

（注3）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注4）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注5）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注6）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注7）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注8）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注9）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注10）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注11）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注12）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注13）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注14）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注15）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注16）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注17）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

（注18）「面接」は、個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。

(3) 第2次選考及び入学試験の日時及び検査場

学部	学科・系	選 抜 日	集合時刻	集 合 場 所	検 査 場	検査 開始時刻
経営学部 データサイエンス	データサイエンス 経営学科	令和5年 11月25日(土)	8時30分	峰キャンパス 5号館B棟 玄関ホール	宇都宮大学 峰キャンパス 5号館B棟 (宇都宮市峰町350)	9時
地域デザイン科学部	コミュニティ デザイン学科	令和5年 11月25日(土)	8時30分	陽東キャンパス 10号館1階 アカデミア・ ホー ル	宇都宮大学 陽東キャンパス 地域デザイン科学部 (宇都宮市陽東7-1-2)	9時
	建築都市 デザイン学科					
	社会基盤 デザイン学科					
工学部	基盤工学科 化学系	令和5年 10月30日(月)	8時30分	陽東キャンパス 10号館1階 アカデミア・ ホー ル	宇都宮大学 陽東キャンパス 工学部 (宇都宮市陽東7-1-2)	9時
農学部	農業環境 工 学 科	令和5年 10月30日(月)	8時30分	峰キャンパス 1号館A棟 玄関ホール	宇都宮大学 峰キャンパス 農 学 部 (宇都宮市峰町350)	9時

8 受験上の注意事項

(1) 検査当日の注意事項

- ① 検査当日は、「本学の受験票」を必ず持参してください。
- ② 検査当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに必ず集合してください。
〈集合時刻に遅れた場合の取扱い〉
検査開始後30分までは受験を許可しますが、検査時間の延長は認めません。
- ③ 受験の際に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのものに限る）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬、鉛筆キャップ、プレゼンテーション・グループディスカッションの資料、造形実技で使用する物品だけです。
- ④ 下敷き、座布団については、監督者の許可を得たものに限り使用することができます。
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン等は電源を切り、監督者の指示に従ってください。
- ⑥ 天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない可能性があります。検査場には余裕をもって来るようにしてください。
- ⑦ 昼食時間は、当日指示します。
- ⑧ 検査当日は、自動車及びバイクによる検査場内への乗り入れを禁止します。

(2) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア 志願票，受験票へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼るなど）をすること，解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど）をすること
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること
- エ 配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- カ 監督者が試験開始を指示する前に，問題冊子を開いたり解答を始めること
- キ 試験時間中に，使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること
- ク 試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，ＩＣレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること
※イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中，病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は，受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）
- ケ 監督者が試験終了を指示した後に，その指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること
- コ その他，試験時の説明で禁止された行為をすること

② 上記①以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。ただし，試験時の説明で認められている行為については，不正行為に該当しません。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，①と同様です。

- ア 試験時間中に，定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具や携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，ＩＣレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類，教科書，参考書，辞書等の書籍類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること
 - イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど，試験の進行に影響を与えること
 - ウ 試験に関することについて，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
 - エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
 - オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
 - カ その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
- ※その他，試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

9 合格者発表

(1) 発表日時

合格者発表 (注1, 注2)	データサイエンス 経営学部	データサイエンス経営学科	令和6年2月13日（火） 16時
第1次選考結果 (注1)	地域デザイン 科学部	令和5年10月20日（金）にコミュニティデザイン学科の出願者全員へ郵送します。 なお、本学ホームページ「 http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html 」においても第1次選考合格者の受験番号を掲載します。（15時頃） また、第1次選考合格者には「令和6 共通テスト成績請求票」（国公立総合型選抜用）を後日送付してもらいますので、それまで大切に保管しておいてください。 * 第1次選考不合格者には、検定料の返還方法についての文書を添付します。	
第2次選考結果 (合格者発表) (注1, 注2)		コミュニティデザイン学科	令和6年2月13日（火） 16時
合格者発表 (注1, 注2)		建築都市デザイン学科	令和5年12月5日（火） 14時
		社会基盤デザイン学科	
	工学部	基盤工学科 化学系	令和5年11月13日（月） 14時
農学部	農業環境工学科		

(注1) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

(注2) 合格者には「合格通知書」を速達で郵送します。

ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。

(2) 入学前の学修支援について

合格し、入学手続を完了した者には、入学後の学修が効果的に進められるように、入学前に学修課題(例えば、レポートの提出)を与えることがあります。詳細は入学手続完了者に対して、学部(学科)から通知します。

10 合格者への諸注意

(1) 「大学入学共通テスト受験票」(地域デザイン科学部建築都市デザイン学科及び社会基盤デザイン学科、工学部基盤工学科化学系、農学部農業環境工学科の合格者のうち大学入学共通テストに出願した者を含みます)は入学手続時に必要となるので、紛失しないように大切に保管してください。

(2) 総合型選抜で合格した者は、原則として入学辞退は認められません。

ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和6年2月19日(月)までに「入学辞退願」(任意様式)を提出し、必ず許可を得なければなりません。

(3) 総合型選抜による合格者が、本学に入学手続を完了したときは、他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ)を受験しても合格者となりません。「総合型選抜の辞退を許可された者」でなければ、他の国公立大学を受験してもその合格者とはなりません)

(※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi>)参照)

(4) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、総合型選抜の合格及び入学手

続等に関する個人情報が、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

11 入学手続

(1) 手続期間

データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	令和6年2月18日（日）・19日（月） （ただし、19日は17時までに必着とします）
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	令和6年2月18日（日）・19日（月） （ただし、19日は17時までに必着とします）
	建築都市デザイン学科 社会基盤デザイン学科	令和5年12月19日（火）・20日（水） （ただし、20日は17時までに必着とします）
工学部	基盤工学科 化学系	令和5年12月19日（火）・20日（水） （ただし、20日は17時までに必着とします）
農学部	農業環境工学科	令和5年12月19日（火）・20日（水） （ただし、20日は17時までに必着とします）

※入学手続期間内に必ず手続を完了させてください。入学手続を完了しない場合、本学及び出願した他国公立大学への入学が認められなくなりますのでご注意ください。

(2) 入学手続時に必要な納付金等

ア 入学料 282,000円

※1 入学料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（4年間分）〔令和5年4月現在〕

4,660円

ウ TOEIC IPテスト受験料（5回分） 12,900円〔令和5年4月現在〕

エ 洋書多読システム等受講料（1年間分） 6,820円

(3) 入学後に必要な諸経費

ア 授業料 535,800円（年額）

※1 授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※3 授業料は、半期分（267,900円）をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落としによる口座振替の方法で納入することになります。（前期分授業料口座振替日は5月下旬）

イ 教科書代 自己負担となります。

ウ 実験・実習費 自己負担となることがあります。

(4) マイナンバーカードの使用について

宇都宮大学では、令和3年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php>」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、1～2か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「<https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/>」をご確認ください。

(5) その他

入学手続等に関する書類は、「合格通知書」送付の際に同封します。

12 その他

(1) 一般選抜等への出願

本学の総合型選抜の出願者は、本学及び他の大学の一般選抜、及び総合型選抜を除く特別選抜にも出願できます。なお、その際は、志望する大学の出願要件等に留意してください。

本学の学生募集要項は、総合型選抜を除く特別選抜は令和5年9月上旬から、一般選抜は令和5年11月上旬から公表する予定です。

(2) 受験者に対する宿泊のあっせんは行いません。

(3) 総合型選抜の志願状況は10月5日（木）から10月13日（金）の午後5時まで公表します。

(4) 総合型選抜に関して不明な点は、次に照会してください。

〒321-8505 宇都宮市峰町350
宇都宮大学アドミッションセンター事務室
TEL 028 (649) 5112

13 令和5年度総合型選抜入学者選抜状況

学 部	選抜区分	学 科	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 受験者数	合格者数	入学者数
地 域 デザイン 科 学 部	一般選抜	コミュニティデザイン学科	7	12	12	12	7	7
		建築都市デザイン学科	3	10		10	3	3
		社会基盤デザイン学科	5	11	11	11	6	6
農 学 部	一般選抜	農 業 環 境 工 学 科	5	4		4	3	3
合 計			20	37	23	37	19	19

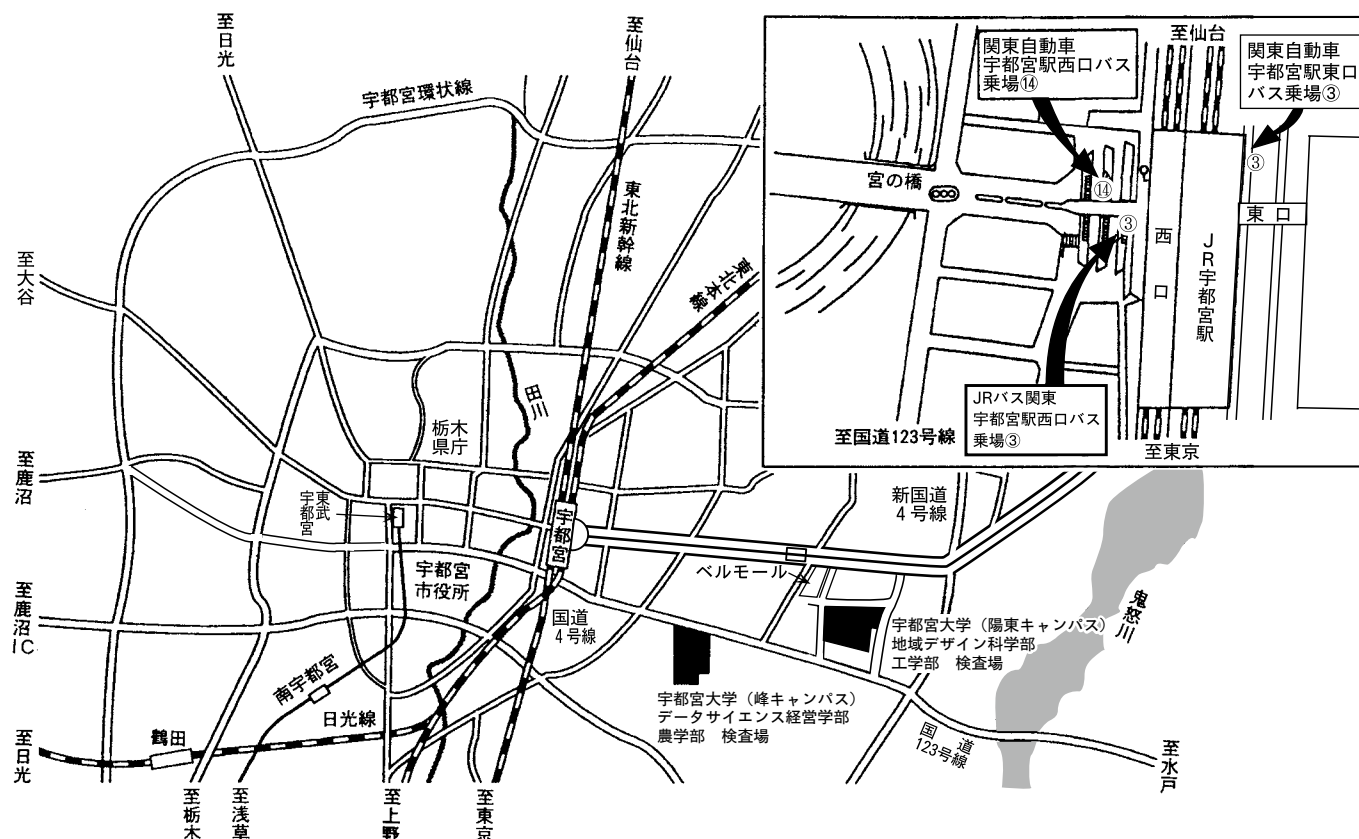
14 検査場案内図

東京都内から本学最寄駅までの所要時間

- 東京駅からJ R宇都宮駅 J R東北新幹線利用 約1時間
J R上野東京ライン、宇都宮線利用 約2時間
- 新宿駅からJ R宇都宮駅 J R湘南新宿ライン、東北新幹線利用（大宮駅乗換） 約1時間15分
J R湘南新宿ライン、宇都宮線利用 約1時間50分
- 浅草駅から東武宇都宮駅 東武スカイツリーライン、東武日光線、東武宇都宮線利用
（曳舟、南栗橋、新栃木駅など乗換） 約2時間30分
- 羽田空港からJ R宇都宮駅 東京空港交通（高速バス）利用 約3時間

仙台から本学最寄駅までの所要時間

- J R仙台駅からJ R宇都宮駅 J R東北新幹線利用 約1時間20分



◎宇都宮大学峰キャンパスデータサイエンス経営学部・農学部検査場（J R宇都宮駅から約2.2km）

- 関東自動車（真岡、益子、星の杜中学校・高等学校、ベルモール行など）

J R宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車約10分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分

東武宇都宮駅バス乗場から乗車約20分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分

- 関東自動車（卸団地循環、ベルモール、星の杜中学校・高等学校行）

J R宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約10分「宇都宮大学前」下車 徒歩1分

◎宇都宮大学陽東キャンパス地域デザイン科学部・工学部検査場（J R宇都宮駅から約4.2km）

- 芳賀・宇都宮LRT（芳賀町工業団地管理センター前行）

宇都宮駅東口から乗車約10分「宇都宮大学陽東キャンパス」下車 徒歩9分

- 関東自動車（真岡、益子、星の杜中学校・高等学校、ベルモール行など）

J R宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車約15分「工学部前」下車 徒歩6分

東武宇都宮駅バス乗場から乗車約25分「工学部前」下車 徒歩6分

- 関東自動車（ベルモール、星の杜中学校・高等学校行）

J R宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約10分「工学部前」下車 徒歩6分

〔参 考〕

関東自動車(株)本社路線バス部 TEL 0 5 7 0 - 0 3 1 8 1 1

社会基盤デザイン学科のプレゼンテーション内容である 「地域社会貢献活動」について

地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科の総合型選抜の検査では、受験者自らが行った、あるいは参加した「地域社会貢献活動」をテーマとしたプレゼンテーションを行ってもらいます。プレゼンテーションの内容については、以下の説明を参考に作成してください。なお、地域社会貢献活動の内容は、課外活動において行った活動内容だけでなく、「総合的な学習の時間」内において実施した内容を用いて、報告書を作成しても構いません。

1. 総合型選抜で求められる人物像

社会基盤デザイン学科の求める学生像（アドミッション・ポリシー）は、

- ① 社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
- ② 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
- ③ 社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
- ④ 学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人
- ⑤ 社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人
- ⑥ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション力が身についている人

であり、特に総合型選抜では、以下の内容について主眼を置いて試験を実施します。

社会基盤デザイン（インフラ整備、土木工学）に関心があり、社会基盤や地域環境、自然環境など自地域住民の住む環境を“より良いものにしたい”と考えて自ら行動できる者

上記の内容を審査するために受験者が行った「地域社会貢献活動」のプレゼンテーションを行ってもらいます。ただし審査は、プレゼンテーションだけでなく、他の書類も考慮して進めます。

2. 「地域社会貢献活動」とは

- ▷ 地域や学校のみんなのために何かしたことがあれば、それが「地域社会貢献活動」です。
- ▷ 生徒会活動やクラブ活動、クラスや授業での活動など、学校生活を通じてできる範囲でかまいません。「学校という社会」での活動も含まれます。
- ▷ 「NPOに参加して活動した。」とか「地域おこしの活動に参加して表彰された。」など、非常に高度な内容でなくても、よいです。もちろん、そのような経験もOKです。
- ▷ 活動の内容そのものよりも、“活動を通じて何を学んだか”、“今後どのようにしたいか”、“自分は何をしたいか”を自分の言葉でしっかり書くことがもっとも大切です。

※地域社会貢献活動は、実施時期や期間を限定していませんので、2020年3月以降に活動できていない場合でも問題ありません。また、活動について課外活動の内容に限定せず、「総合的な学習の時間」等の授業時間内において実施した内容をもって地域貢献活動としても問題ありません。

※よくわからないときは、遠慮なく後述の「問い合わせ先」に相談してください。

3. 「地域社会貢献活動」の例

具体的な事例としては、以下のようなものも考えられます。あくまでも例なので、これにとらわ

れず、自由な発想で、地域あるいは学校でみんなのためにしたことを「一つ」プレゼンテーションのテーマとして選定してください。

地域での取り組みとしては、以下のようなものも含まれます。

- (A 1) 町内会で道路の環境美化活動に参加した。
- (A 2) 町内会で、沿道に花を植える「花いっぱい運動」に参加した。
- (A 3) 地域のサッカークラブの活動として、小中学校のスポーツ指導をした。
- (A 4) 地域のお祭りに、スタッフとして参加した。
- (A 5) 地域の防災（防犯、高齢者支援、……）のための活動に参加した。
- (A 6) 地域の博物館（図書館、公民館、……）の活動に、ボランティアで参加した。

また学校での取り組みとしては、以下のようなものも含まれます。

- (B 1) 生徒会活動で近隣周辺の清掃活動を行った。
- (B 2) 文化祭で、地域の人々と関わる活動をした。
- (B 3) 学校の活動の一環で、地域の行事に参加した。
- (B 4) 授業で、地域の河川の様子を調べて、河川を汚さないための工夫を発表した。
- (B 5) クラブ活動で、意見を出し合って練習の仕方を工夫し、活動成果の向上に貢献した。
- (B 6) 文化祭の実行委員として、クラスや部活動の場所・時間の割当などを調整した。

この他、「ホストファミリーとして留学生を迎え入れ、日本や地域のことを理解してもらった。」など、家庭内も含め、受験者が学校内外の社会や人々のために“より良くしよう”とした活動や経験についてプレゼンテーションのテーマとしてください。なお、部活動やサークルにより当てはまる活動内容が複数ある場合でも、代表となる経験活動を一つに限り選定し、複数の活動内容を発表内容としないよう注意してください（活動内容を複数選定しても評価対象としません）。

4. プレゼンテーションの内容

プレゼンテーションの発表内容は、自分の実施した活動や経験一つを挙げて、必ず以下の項目に従ってプレゼンテーション原稿（スライド）を作成してください。

- I. どのような活動を行ったか（場所、期間も含みます）。
- II. その動機は何であったか。
- III. 活動して感じた問題点や改善すべき点は何か。
- IV. それを解決するには何が必要だと思うか。
- V. この経験の全体的な感想。
- VI. 将来どのような形で、社会に貢献していきたいか（大学卒業後のことも含みます）。

について各項目の内容をわかるようにプレゼンテーション原稿（スライド）を作成してください。

なおプレゼンテーションを行う「地域社会貢献活動」の内容は、出願時に提出する「地域社会貢献活動のタイトル・概要票」と同一のものとし、タイトルや内容を変えることはできませんので、注意してください。

※出願時のタイトル、内容を検査時に変更する場合は事前にご相談ください。

5. 選考当日における「プレゼンテーション」について

試験は面接、口頭試問と合わせ、前述の通り地域社会貢献活動に基づくプレゼンテーションを行います。プレゼンテーション原稿（スライド）を作成するにはマイクロソフト社の「パワーポイント」というソフトウェアを使用することが望ましいですが、同社の「ワード」などの文書作成ソフトを工夫して使用しても構いません。作成したプレゼンテーション原稿のファイルを最終的にはPDF形式のファイルにして、それを1ページずつスクリーンに映しながら、プレゼンテーショ

ンをしていただきます。なお、総合型選抜募集要項中に記載あるとおり、プレゼンテーションソフトは、最新版 Adobe Reader のみとしています。PDF 以外の形式ファイルによる発表は一切認めません。

※試験会場にファイルを持参する際は必ず PDF ファイルに変換し PDF ファイルのみ持参してください。

試験は、ソフトウェアの使い方を審査するものではなく、あくまでも発表の内容について審査するものです。ソフトウェアの使い方は、ごく初歩的なものでかまいません。プレゼンテーションに当たっての熱意、姿勢、審査員の質問に対する受け答えが重要になります。

試験で行われる面接内の口頭試問は、プレゼンテーションの内容とは関係ありません。口頭試問は、大学における理工学教育を受けるための基礎能力把握の為、数学、物理の理解度を確認するためのものです。

不明な点は遠慮なく、後述の「問い合わせ先」に相談してください。

6. 受験者待機室における諸注意事項

- 試験日は、受験者数によっては、集合時間から3、4時間程度待機をして頂くこともありますので、受験者待機室は“飲食可”とします。飲み物や軽食を準備したい受験者は、事前に準備し会場に持参してください（飲食で出たゴミは、持ち帰りをお願いします）。
ただし、一旦受験者待機室に入室後には、特別の理由がない限り、試験終了後まで受験会場（受験者待機室、試験室、プレゼンテーション練習室）からの外出は認められませんので、途中で購入することはできません。
- 受験者は、受験番号順に試験室にて選考を受けることとなりますが、受験者待機室の他にプレゼンテーションの練習をするための練習室を設けます（練習用パソコン配置有り）。練習室の利用方法及び利用時間は、当日係員が指示しますので指示に従ってください。
- 受験会場（受験者待機室、試験室、プレゼンテーション練習室）では、携帯、スマートフォン、パソコン（個人）など全ての電子機器の使用は認められません。入室後は全て電源を切ってカバンの中にしまってもらい、面接試験終了まで使用できませんのでご注意ください。

7. 出願時における提出書類の取り扱いについて

調査書等提出された全ての書類は、面接審査を効果的に進めるための基礎資料として活用します。

8. 問い合わせ

社会基盤デザイン学科の総合型選抜の審査内容に関する質問は、「問い合わせ先」に相談してください。特に、受験者自らが経験した内容が地域社会貢献活動にあてはまるかどうかは重要なので、疑問がある場合には遠慮なく相談してください（一部、回答できない内容もあるので、その際はご容赦ください）。

「問い合わせ先」

国立大学法人 宇都宮大学 陽東キャンパス事務部 地域デザイン科学部係
〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2
TEL：028-689-6231 FAX：028-689-6009
E-mail：rdo@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

栃木県の高校生の皆さんへ

入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内

宇都宮大学では、本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内の高校生に対して、選考の上、入学時に必要となる学資の一部を給付型奨学金として支給する制度を設けています。

※掲載時点の情報です。申請の際には最新の奨学金募集要項をご確認ください。

◆申請資格（次の全てに該当する方）

1. 令和5年度に栃木県内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
2. 令和6年4月に本学学部正規課程の1年次に入学する予定の者（外国人留学生を除く。）で、本学に強く入学を志望する者
3. 世帯の年間収入が500万円以下である者
4. 令和5年度の総合型選抜、学校推薦型選抜（Ⅰ・Ⅱ）又は一般選抜（前期・後期）に出願し、合格した場合には入学することを確約できる者

※注：申請資格の3については、令和5年度実績であり、今後変更となる場合があります。

具体の申請資格については、必ず「入学応援奨学金（予約型奨学金）募集要項」でご確認ください。

◆支給額

30万円（一時金）

◆採用予定者数

20人程度

奨学金の要項及び申請用紙は、本学ホームページを参照ください。

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

宇都宮大学ホームページ トップ→受験生の方→学費免除・奨学金制度

【申請から給付までのスケジュール】

令和5年

9月下旬～10月上旬（予定）（消印有効） 申請受付期間

11月（予定） 内定者決定通知

令和6年

4月 受給者決定、奨学金支給

【奨学金に関する問い合わせ先】

宇都宮大学学務部学生支援課奨学支援係

TEL 028-649-5102

※在学する学校を経由して申請してください。入学試験出願書類に同封できません。



宇都宮大学

受験生応援サイト

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>

又は右図QRコードでご確認ください。



QRコード



宇 都 宮 大 学
アドミッションセンター事務室

〒 321-8505 宇都宮市峰町350

TEL 028 (649) 5112